

「本物を」新神戸に拠点誕生

■筆者プロフィル■
わたなべ・ひろなお
1954年、新温泉町浜坂出身。県職員として畜産行政に長年携わってきた。県立但馬牧場公園「但馬牛博物館」館長。

こんな時、しばしば“本物の神戸ビーフ”という言い方を聞く。こう言わるのは、神戸ビーフや但馬牛という呼び名が、日本人がブランドを意識するよりずっと昔からありましたことと関係がありそうだ。横浜が開港した幕末、そこへ来た外国人の食用に、但馬



試食に加え、本物の神戸ビーフが味わえる
レストランをタブレットで紹介



神戸ビーフ館の入り口。オープン前にはすでに人の列ができていた



地域の宝

但馬牛物語

★46★

昔のラグビー仲間に誘われて、檜円のボトルが懐かしくなり神戸に行った。おじさんばかりだから、とてもラグビーと言えるものではないが、それでも心地よい汗をかいた。

そしてあとは行きつけの焼

き肉屋へ。皆、本当の目的は

こっちにあるようだ。店に着

くと、グラウンドになかった仲間も集まり、ショッキ片

手に焼き肉をほおばってラグ

ビー談議やたわいもない話に

花を咲かせる。

こんな時、しばしば“本物

の神戸ビーフ”という言い方

を聞く。こう言わるのは、

神戸ビーフや但馬牛という呼

び名が、日本人がブランドを

意識するよりずっと昔からあ

ったことと関係がありそうだ。

横浜が開港した幕末、そこ

へ来た外国人の食用に、但馬

牛が飼っていた三田や有馬周辺の牛を神戸港から回漕して、感激した外国人が「KO BE BEEF」と呼んだのがその名の由来と伝えられる。また但馬牛の名も、国牛十団という巻物に書かれた鎌倉時代までさかのぼる。

そんなことから明治以来、

神戸ビーフや但馬牛は肉屋さ

と聞く。訪日外国人客数が

飛躍的に増えた2015年以

上り、神戸ビーフや但馬

牛の定義を定め、認証する

神戸肉流通推進協議会が誕生

した。

特許庁は当初、神戸ビーフ

や但馬牛はフランスパンと同

じで、一般名詞だとして商標

登録してくれなかつた。しか

し地域団体商標制度ができた

ことにより商標登録でき、今

では地理的表示認証を取得

し、欧州連合(EU)を含め

リエンタルアベニューにオ

ーブ、但馬牛”を食べられる

店を教えてくれる神戸ビーフ

館が新神戸駅近くの新神戸オ

ーレンタルアベニューにオ

ーブ、但馬牛”を食べられる